

危険な米軍輸送機オスプレイの配備撤回を

2012 年 月

内閣総理大臣 野田佳彦 様

【要請趣旨】

日米両政府は、国民の強い反対を無視して、米海兵隊の輸送機 MV22 オスプレイの沖縄・普天間基地への配備をすすめようとしています。

オスプレイは、開発段階から何度も墜落事故を繰り返し、ことし4月にモロッコでの墜落事故で2名が死亡したのに続いて、6月14日にもアメリカ・フロリダ州で墜落するなど、これまでに少なくとも36人が死亡しており、欠陥機であることが世界に知られています。

オスプレイ配備が強行されれば、「世界一危険な」普天間基地を抱える宜野湾市民への危険が増すだけでなく、米軍ヘリパッド建設が強行されようとしている東村高江など沖縄県内の各基地で運用され、県民全体への危険はいつそう重大なものとなります。

沖縄では、県議会、那覇市をはじめ39市町村議会が反対を決議しており、6月17日には5200人の参加で宜野湾市民大会が開かれています。

さらに米軍は、オスプレイを山口県の岩国基地や静岡県のカンプ富士に派遣して、東北、北信越、近畿・四国、沖縄・奄美など6つのルートで高度150メートルの低空飛行を含む訓練を想定しています。このように、沖縄県民と国民を危険にさらすオスプレイの配備を強行することは許されません。

私たちは、下記事項の実現を求めます。

【請願項目】

- 政府は、オスプレイ配備の中止をアメリカに求めること。

氏 名	住 所

取り扱い団体